

国立大学法人

News Letter Vol.6 2007.11.01

東京農工大学 ニュースレター

秋号

巻頭対談

『生協の白石さん』と語る農工大の学生とキャンパスライフ

特集 2007年春の進路状況 研究最前線 クローズアップ農工生 大学からのお知らせ

地球をまわそう。農工大



『生協の白石さん』と語る

農工大の学生とキャンパスライフ

学生本位の快適なキャンパスづくりに取り組む小畑秀文学長が日本でもっとも有名な大学生協職員である白石昌則さんに、農工大の学生気質、学生サービスや大学ブランド力向上などについてフランクな雰囲気の中でお話をうかがいました。

学生たちは有名になる前と同様に接してくれます。やはり農工大の学生はやさしいですね。

と分け隔てない付き合いができたことがとても楽しかったし、今でも良い経験ができたと思っています。

小畑 確かにそれは素晴らしい経験ですね。現在、本学で学生と良い関係を築いている白石さんの原点は、その寮生活にあるのかもしれないですね。ところで、『生協の白石さん』がベストセラーとなり一躍、全国区の有名人となったことで、本学での白石さんの生活が、ずいぶん変わってしまったのではないかと心配しているのですが……。

白石 そうですねえ、学生と一緒に写真を撮ったりする機会が増えました(笑)。でも基本的に生協職員としての私の日常に変わりはありません。学生たちも、いきなり有名になってしまった一般人の私に何かと気を使ってくれているので、店頭ではそれ以前と同様に接してくれます。やはり農工大の学生はやさしい人が多いですね。

小畑 それはよかったです。学生たちとそんな心温まる交流をされているのであれば心配いりませんね。そうそう、今年度からスタートする文部科学省の「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)」(※1)の実施委員会委員に白石さんが選ばれたことを



白石 昌則 SHIRAIISHI Masanori

●大学生協同組合職員(本学小金井キャンパス勤務)
●「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)」実施委員
●信州大学経済学部卒業

小畑 白石さんは本学の前は私立大学の生協で働かれていたようですが、本学の学生たちの印象はいかがでしたか？

白石 好印象です。とても真面目だけれど、いい感じで肩の力が抜けていて、気さくな学生が多いと思います。そしてみんな礼儀正しい……きっと研究室の先生方の教育がしっかりしているんですね。

小畑 大学時代の白石さんは、どのような学生だったのですか？

白石 文系の学生でしたので、理工系の農工大生よりもっと肩の力が抜けていたかもしれません(笑)。私は東京出身ですが、大学は地方の国立大学に進学し、寮生活を送りました。寮では、学部や学年に関係なく、さまざまな人たちが



小畑 秀文 KOBATAKE Hidefumi

- 東京農工大学学長(平成17年5月～)
- 工学博士

学生支援GPの委員に選ばれた白石さんもすごいけど白石さんを選んだ人はもっと偉いと思います。目の付け所が良いと感心しました。

知り、私はとてもうれしく思いました。
白石 私自身、驚きましたがたいへん光栄に思っています。ただ、会合に出席すると、他の委員の方が各大学や高専のトップなど錚々たるメンバーなので、「私でいいのかな」と思われますが……。
小畑 いえいえ、選ばれた白石さんもすごいけれど、白石さんを委員に選んだ人はもっと偉いと思います。目の付け所が良いと感心しました。
白石 そう言っていただと少し安心します(笑)。

小畑 大学教員もふだん学生と接しているのですが、どうしても教育・研究という限定された視点で学生を見てしまいがちです。その点、広く学生の日常生活を知る白石さんは、「学生支援GP」の趣旨にぴったり合う委員だと思っています。私は『生協の白石さん』に書かれている「一言カード」(※2)での学生とのやりとりを読みながら、とても温かくほのぼのとした気持ちになりました。同時に大学運営の責任者としてキャンパスにおけるコミュニケーションの大切さを痛感させられました。一見、ドライに見える現代の学生たちも、人と人とのコミュニケーション



ションを切実に求めているのですね。本学でもコミュニケーションを基盤とした学生支援サービスをもっともつと考えていくつもりです。白石さんがこれから選ばれる「学生支援GP」の選定のカギも、きつとコミュニケーションにあるのかもしれない。
白石 そうですね。自分なりのスタンスで大学の計画書に真剣に目を通していき、ほんとうに学生のためになる「学生支援GP」を選んでいきたいと思っています。

※1「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)」

文部科学省が平成19年度から実施する事業で、「学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するため、各大学・短期大学・高等専門学校における、入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的な学生支援のプログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取組を含む優れたプログラムを選定し、広く社会に情報提供するとともに、財政支援を行うことで、各大学等における学生支援機能の充実を図る」という目的のものです。平成19年9月7日に選定結果が発表され、農工大が申請した「新しい地球人養成プログラム」も採択されました。なお、この対談はそれ以前に行われたものです。

※2「一言カード」

生協の食堂や購買に対する学生の意見を募るカード。工学部(小金井キャンパス)の生協職員である白石さんが、学生がふざけて書いたカードに対しても、誠実でウィットに富む回答を書いたことがインターネットのブログ経由で大きな話題となり、単行本『生協の白石さん』(講談社刊)は90万部を突破するベストセラーとなっています。

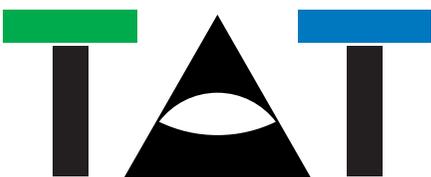
生協で扱っている大学グッズを通して
農工大がブランド力向上に
力を入れていることを肌で感じています。
おかげさまでグッズの売り上げも上々です。

小畑 国立大学の法人化後、他大学同様、本学でも広報活動を活発に展開するようになりました。この対談が掲載される「ニュースレター」もその一環ですが、受験生や一般社会に向けた情報発信を積極的に行い、大学としてのブランド力を高めていきたいと考えています。同時に学生に楽しく充実したキャンパスライフを過ごしてもらうためのサービスや支援も重視しています。白石さんは、そんな本学の広報や学生サービスとの取り組みをどう見られていますか？

白石 生協で扱っている「TAT」(※3)のロゴが入った大学グッズを通して、近年、農工大がブランド力向上に力を入れていることを肌で感じています。おかげさまでグッズの売り上げも上々です。マグカップやシャープペンシルはポップなデザインになって女子学生にも好評ですし、入学式や卒業式では、ロゴ入りのおまんじゅうが飛ぶように売れました。そのほか、大学グッズのヒット商品として、ホルスタイン種の牛の白黒模様を模したクラッチバックがあります。この商品はデザインを農工大の学生に公募し、商品化するデザインを選ぶのも学生に任せました。当初、私たち生協職員の間では「牛のデザインなんて売れるの？」と危ぶむ声もありました。



つたのですが、何種類かのデザインで発売してみると牛のデザインしか売れなかったのです。そうすると私たちにも、牛の白黒模様が農工大らしい素敵なデザインに見えてきました(笑)。
小畑 それは興味深い話ですね。学生のアイデアや感性によって、キャンパスを活性化させる方向性は大きいに歓迎すべきことです。今春、発



※3「TAT」

東京農工大学の英語表記(Tokyo University of Agriculture and Technology)を基に、本学の理念とする「循環型社会の実現」をシンボル化したもので、農業(Agriculture)と工学(Technology)をグリーンとブルーの横軸で表し、循環の輪を中央に配した大変親しみやすいマークです。

このブランドマークは、朝日広告賞グランプリを始め、世界的な賞を多く受賞された、著名なアートディレクターである戸田正寿氏の制作によるもので、ブランディング・プロジェクト「UP農工大」(農工大のブランドをイメージアップするコミュニケーション戦略プロジェクト:学長がプロジェクトリーダー)において議論を重ね決定しました。



女子学生に好評の「ロゴ入りマグカップ」



大学グッズのヒット商品「ホルスタイン牛の白黒模様のクラッチバック」



入学式や卒業式で飛ぶように売れる「ロゴ入りまんじゅう」



生協では扱っていない農工大ブランド焼酎「賞典禄」(農学部FSセンターで販売)

売した農工大ブランド焼酎「賞典祿（シヨウテ
ンロク）」も好評です。材料の米・サツマイモ
は本学農学部フィールドサイエンスセンターで
栽培されたもので、ネーミングも学生・教職員・
卒業生からの公募によって選ばれました。今秋
には麦焼酎も販売される予定です。

白石 残念ながら工学部の生協では「賞典祿」
を扱っていないのですが、問い合わせは多いで
すね。学生もそんなふうにも母校のブランドづく
りにどんどん参加すれば、自ずと愛校心が生ま
れてくるのではないかと思います。

小畑 自分が学ぶ大学を好きになってもらうこ
とは、何よりも大切です、私たちもたいへん
重視しています。国立大学法人は今、交付金の
減額など財政的に厳しい環境にあります。そ
んな苦しい中でも、学生が楽しく快適に学べる
教育環境・システムのレベルアップには最大限
の力を注いでいくつもりです。そして、その基
盤となるのは、農学と工学、その融合領域から
生み出される世界レベルの研究力、さらに大規
模な総合大学に負けない産官学連携のアクティ
ビティにあります。そうした農工大の魅力を確
固としたものにし、社会に広く知ってもらいた
め、今後も積極的に広報戦略に取り組んでいく

自分が学ぶ大学を

好きになってもらうことは何よりも大切です。

学生が楽しく快適に学べるよう

最大限の力を注いでいくつもりです。

つもりですが、その際、他大学の情報や学生の
日常にも詳しい白石さんのお知恵をぜひお借り
したいと思います。

白石 実は私たち大学生協も、外食産業などと
の厳しい競争に直面しており、決して現状にあ
ぐらをかいていられません。常にサービスの改
善や新しいサービスの開発に努め、生協の魅力



をさらに高めていくことが求められているので
す。

小畑 大学生協も、国立大学法人も、ともに安
くて質の高い商品やサービスを提供していると
いう共通点がありますね。

白石 確かにそうですね。今後も生協職員とい
う立場で、小畑先生たちが進める広報戦略の展
開や大学改革の方向性を見極めながら、少しで
も東京農工大学のブランド力アップに協力でき
たらと思います。

小畑 期待しています。白石さんには、本学の
知名度・好感度アップにこれまで貢献してい
ただいたことだけで、とても感謝しているです
が、できれば今後もずっと本学の生協で働い
ていただきたいですね。

白石 そ、それは私の一存では（笑）。でも、
いつかは農学部のある府中キャンパスでも働い
てみたいですね。





特集 2007年春の進路状況

2007年就職内定者報告

「自分から、積極的に働きかけること！」

農学部 応用生物科学科4年 富山 尚子

絶対に就職するぞ！という人だけでなく、大学院に進むか迷っている人も、大学院進学を決めている人も、とにかく就職活動をやってみることをお勧めします。もちろん、就職活動には、お金も時間もかかります。しかし、大卒の新卒採用のチャンスは一生に一回きりですし、価値観の異なる友達ができたり、自分の客観的な長所や短所がわかったりと本当に貴重な経験ができるので、一生懸命がんばる価値があると思います。

では、具体的に、私が就職活動を通じて得られた教訓を述べたいと思います。

「自分から積極的に働きかけること！」

①絶対にOB・OG訪問をしましょう！！

同窓会に行けば、連絡先を教えてもらえるので、



「自分なりの判断基準」

就職活動を始めるにあたって一番大事なことは、自分の判断基準を明確にしておくことだと思います。

世の中には、私たちのよく知っている大手企業から、あまり知られていない中小企業まで、たくさん企業があります。もちろんそれらをすべて調べることなどできるわけがありません。やりたい分野、給料、仕事環境、知名度など、会社を選ぶ基準は色々ありますが、何が自分にとって大切かを明確にしておけば、たくさんセミナーに参加して、時間と体力を浪費することもなく、範囲を絞ってより効率的な企業研究ができます。会社説明会に参加しても、このような基準を決めておけば自分なりの企業の見方が

直接の知り合いでなくても自分から連絡することで相手の方に熱意が伝わって、お忙しい中多くの方が時間を取ってください。

OBやOGと話していくうちに、自分のやりたいことがより明確になりますし、建前だけの業界全体の話も聞けます。また、就職活動に限らず、研究室の選び方や研究の進め方など、さまざまな話をするこ

②説明会をフルに活用しましょう！

説明会でも、私はいつも開場30分前には到着し、最前列に座っていました。これは、社員の方の話を真剣に聞こうという姿勢を持たないと、ついつい甘えが出て、集中できないからです。そして、説明会後には、質問をしたり、自分のやりたいことをじっくり聞いて

工学部 電気電子工学科4年 山中 千拓

でき、無駄なく会社をまわることができるといえます。

そのためには、早い段階で自己分析をする必要があります。今までの人生をどう生きてきたか、どんな価値観を持っているのか、自己分析をやっておくことで自分の判断基準がはつきりと見えてきます。私も正直言って、就職活動を始めたころは、自分が何になりたいのかが分かりませんでした。自己分析をしたおかげで、それまで自分でも気づかなかった部分を発見することができました。

また、試験の受け方には学校推薦と自由応募があります。希望がしっかり固まっているのであれば受かり易い学校推薦がいいと思います。内定を辞退

もらったりして、説明会をフルに活用していました。これは、普段話しなれない年の社会人と話をする訓練にもなり、面接の練習としても有効だと思います。

せっかく貴重な時間とお金を使っているのですから、積極的に、たくさん吸収しちゃいましょう！

最後になりますが、「自分のやりたいこと」を大切にすることも大事ですが、時には素直に周りの人や、人事部の方の意見(e.g. 研究職よりも営業の方が向いているのではないかとか)を聞いて、他の人の意見と自分の関心との接点を探し、異なる職種や業種を受けてみることも大事だと思います。

私のメッセージが少しでも、みなさんが納得のいく就職活動を送るための手助けになれば光栄です。

できないという制約もありますが、学校推薦の方が内定率が圧倒的に高いというのは事実です。自由応募で受けるにしても、「大手だから：」「人気があるから：」という理由で、ただ闇雲に受けることはお勧めできません。関心のない企業のエントリーシートや試験対策に無駄な時間を割くよりも、できるだけ興味のある企業だけに絞っていった方がいいと思います。

就職活動はたくさん企業や人に触れられる数少ないチャンスです。今一度、自分自身としっかりと向き合い、是非みなさんにも就職活動を楽しまくらひの余裕をもってやってもらいたいと思います。

平成18年度(平成19年3月)進路・就職状況について

平成19年3月卒業の学部学生については、農学部生は約半数、工学部生約7割が大学院への進学を選択していますが、就職を希望する学生も少なくありません。就職者のほとんどは、バイオ関係、薬品、化学、食品、ナノ関連、電気、機械、情報関係等、4年間で修得した知識や技術を十分に発揮できるフィールドで活

躍しています。

学部ごとの傾向としては、農学部は主に官公庁、工学部はメーカーへという特徴があります。

また、大学院生は、大手メーカーの研究開発職の即戦力として活躍しています。

平成18年度卒業・修了者の進路等の状況

平成19年5月1日現在

区 分	学 部					大学院(博士前期・修士課程)						大学院(博士後期・修士課程)						大学院(専門職学位課程)			合計			
	農学部		工学部		計	工学府		農学府		生物システム 応用科学府		計	工学府		農学府		生物システム 応用科学府		計	技術経営研究科		計		
	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女		男			女	男
進 学	106	56	361	72	595	32	6	17	9	3	1	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	663
製 造 業	食品・飲料・たばこ・飼料製造業	4	7	2	1	14	5	3	18	11	4	3	44	0	0	0	0	1	1	2	1	0	1	61
	繊維工業・衣服その他の繊維製品製造業	0	0	2	1	3	2	2	2	1	1	1	9	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	13
	印刷・同 関 連 業	0	0	0	2	2	8	2	0	1	0	1	12	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	15
	化学工業・石油石炭製品製造業	2	3	12	6	23	32	20	8	12	9	7	88	3	0	2	0	1	0	6	5	1	6	123
	鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業	2	0	3	0	5	5	0	1	0	0	0	6	1	0	1	0	0	0	2	1	0	1	14
	一般機械器具製造業	0	0	5	0	5	17	1	0	1	1	0	20	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	26
	電気・情報通信機械器具製造業	2	1	6	2	11	26	3	1	0	11	2	43	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	55
	電子部品・デバイス製造業	0	0	14	3	17	34	4	0	0	0	1	39	4	0	1	0	0	0	5	1	0	1	62
	輸送機械器具製造業	1	0	20	3	24	24	1	0	1	1	0	27	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	53
	精密機械器具製造業	1	1	5	0	7	20	4	1	2	7	0	34	3	1	0	0	0	0	4	2	1	3	48
その 他 の 製 造 業	1	3	2	0	6	3	2	5	2	6	0	18	0	0	2	0	0	0	2	1	0	1	27	
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	2	1	3	6	0	0	0	2	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
情 報 通 信 業	3	4	32	9	48	43	6	8	2	4	0	63	2	0	0	0	1	0	3	5	1	6	120	
運 輸 業	0	0	3	1	4	2	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	8	
卸 売 ・ 小 売 業	1	2	5	0	8	0	1	3	3	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	17	
金 融 ・ 保 険 業	2	3	4	0	9	2	1	1	2	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	
不 動 産 業	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
飲 食 店 ・ 宿 泊 業	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
医療・福祉	医療業・保健衛生	0	0	1	2	3	3	1	2	1	0	0	7	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	12
教育・学習支援事業	学 校 教 育	1	0	0	0	1	1	0	2	3	1	0	7	8	1	3	4	7	4	27	0	0	0	35
	その他の教育・学習支援事業	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
複 合 サ ー ビ ス 事 業	4	3	2	0	9	2	0	1	3	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	
サ ー ビ ス 業	学術・開発研究機関	0	1	0	0	1	3	2	2	3	0	2	12	3	0	0	0	16	2	21	2	0	2	36
	その他のサービス業	18	17	5	2	42	4	2	4	6	3	0	19	0	0	0	0	1	0	1	5	1	6	68
公 務	国 家 公 務	6	4	0	0	10	1	0	4	2	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
	地 方 公 務	7	13	3	0	23	1	0	6	9	0	0	16	0	0	2	1	0	0	3	0	1	1	43
農 業 ・ 林 業 等	3	2	0	0	5	0	0	5	1	1	0	7	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	14	
建 設 業	4	7	2	0	13	3	2	6	1	0	0	12	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	27	
上 記 以 外	4	1	2	3	10	1	0	4	3	0	0	8	2	0	2	0	0	0	4	1	0	1	23	
就 職 小 計	68	72	133	37	310	249	57	87	72	52	18	535	28	2	13	5	29	7	84	35	5	40	969	
※ そ の 他	34	18	21	7	80	7	5	10	9	1	0	32	6	3	3	0	29	17	58	2	0	2	172	
合 計	208	146	515	116	985	288	68	114	90	56	19	635	34	5	16	5	58	24	142	37	5	42	1804	

※その他については、研究生・専門学校進学・留学等含む

主な就職先

農学部	農林水産省、地方公務員、JA全農、食品環境検査協会、オリンパス、森永製菓、味の素、国土交通省、経済産業省、林野庁、富士重工業、厚生労働省、武田薬品工業、中外製薬、動物病院 等
工学部	旭化成、第一三共、地方公務員、松下電器産業、日産自動車、日本ペイント、資生堂、本田技術研究所、トヨタ自動車、ブリヂストン、全日空、NECエンジニアリング、東芝、横河電機、三菱重工業、凸版印刷 等
工学府(博士前期課程)	杏林製薬、テルモ、アスピー食品、エーザイ、日本ペイント、東レ、キャノン、大日本印刷、三菱重工業、いすゞ自動車、日野自動車、日産自動車、横河電機、東芝、NTTデータ、ソニー、NEC、日立製作所 等
農学府(修士課程)	JA全農、地方公務員、味の素、日本ハム、日清製粉、大塚製薬、花王、雪印乳業、伊藤忠建材、日本昭和板紙、ライオン、アスピー、伊藤園、日本食品分析センター、住友林業、王子製紙、永大産業、 等
生物システム応用科学教育府(博士前期課程)	セイコーエプソン、日立製作所、日揮、出光興産、任天堂、三井化学、三菱重工業、富士ゼロックス、ソニー、キャノン、NTTデータ、全日本空輸、東京電力、ニコン、三菱電機、東芝 等

東京農工大学 奨励奨学金制度について

本奨学金制度は、本学の基本理念である「使命志向型教育研究—美しい地球持続のための全学的努力」を担う人材育成に寄与することを目的とし、博士後期課程への進学を奨励する奨学金であります。学業成績、人物共に優秀である本学大学院（博士前期課程、修士課程及び専門職学位課程）修了・修了予定学生を対象に、一人20万円を給付することとしています。

平成18年度は49名、平成19年度4月入学者に対しては34名、10月入学者6名に奨学金が授与されています。



▲第1回奨励奨学金授与式

就職サポート

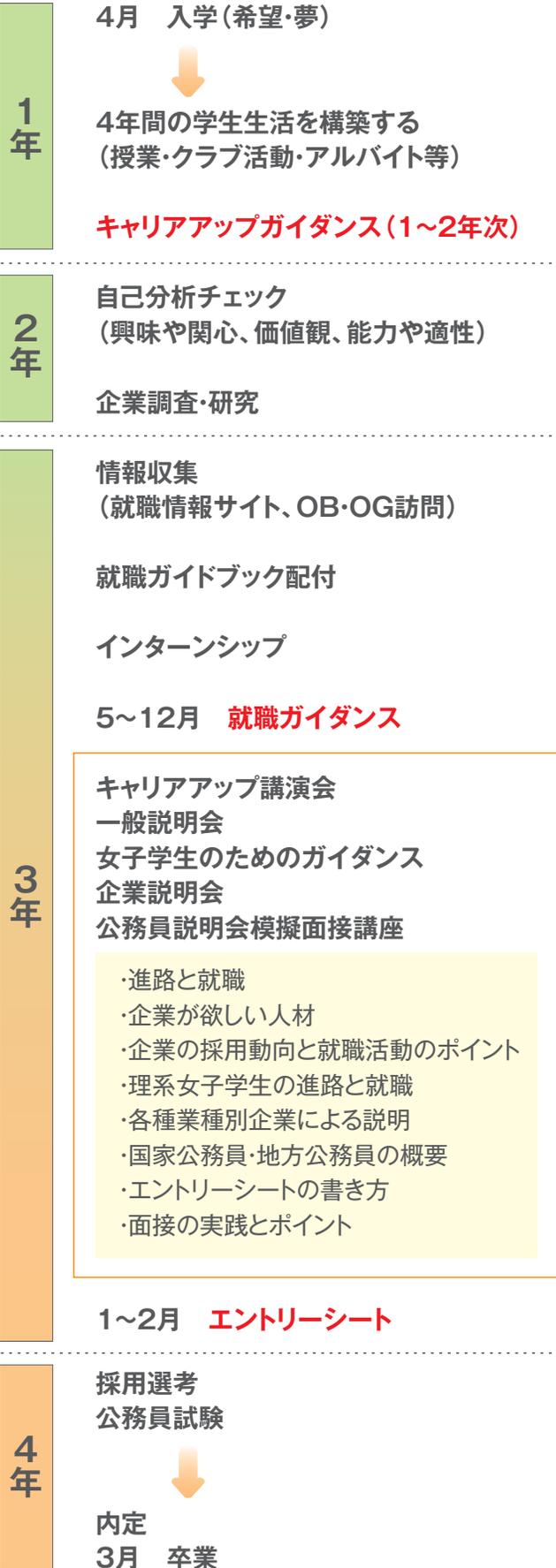
就職ガイダンスは、キャリアアップ講演会、女子学生のためのガイダンス、企業等から講師を招いて行う企業説明会や、公務員希望者を対象とした公務員説明会、就職のための模擬面接講座など様々な内容で開催されています。また、1・2年生を対象にキャリア・デザイン講座を開催し、進路について考える機会を提供しています。

府中・小金井の両キャンパスには進路・就職相談室が設置され、大学教員OBや企業経験のある相談員（キャリア・アドバイザー）が進路や就職に関する個別相談に応じています。また、就職活動に必要な情報をまとめた「就職ガイドブック」を発行しています。自己分析の仕方や志望動機の手書きなど詳細に説明されており、学生に利用されています。



▲キャリアアップ講座

学部生の就職活動の流れ



生物システム応用科学府(工学部 電気電子工学科兼任)



遠く離れた場所から 医師が超音波診断を行う ロボットシステムの研究開発

榎田 晃司 准教授

超高齢化社会の到来により、医師不足が社会問題として浮上しています。近くに医師がない過疎地などでは、さらにその問題は深刻です。そこで注目されるのが遠隔医療です。大都市の医師が、遠く離れた離島の患者を診断・治療できるシステムがあれば、地域医療に大きく貢献するはずです。

私の研究室では、こうした社会的ニーズを見据え、小型・軽量の遠隔超音波診断システムの研究開発を進めています。昨年には、救急車で搬送される人の断層像を遠隔操作で取得する実験に成功しました。MRIやX線CTに比べ、超音波診断は機器がコンパクトでコストが安く、胎児の診断に使用されているように、安全性も高い検査方法です。超音波診断法では、医師がプローブと呼ばれる小さな

器具を患者の体表に押し当てて断層像を観察します。私たちの遠隔超音波診断システムは、患者側に置かれる「3本のアームにプローブをセットした検査ロボット」、および医師が操作する「遠隔コントローラ」で構成され、それらをネットワーク技術で結んだものです。ロボットの3本のアームは、互いのブレを相殺し合うことで位置精度を高めるほか、左右非対称である人体の臓器配置にも対応しています。すなわち診断する臓器側を2脚にすれば、より精度の高い位置制御が可能となります。コントローラは6本のワイヤによって吊られ、実際のプローブに近い感覚で操作できる専用のものを開発しました。そして、このシステムは単に遠隔操作で動きを伝えるだけではなく、ロボットに組み込んだ力センサによって、人体からの感触(反力)をコ



農学府 農学部 獣医学科



細胞生物学的アプローチで、 「がん」に苦しむ 犬や猫の命を助けたい

田中 あかね 准教授

多くの犬や猫などのペット動物が人間と同じくアレギー症状やがんに悩まされているのをご存じですか？ たとえば犬や猫には「肥満細胞腫」というがんが増加しています。肥満細胞といっても肥満の原因となる細胞ではありません。さまざまな化学伝達物質が含まれている細胞自体が太って見えるのでそう呼ばれており、本来は免疫反応など生体防御機構に重要な役割を持つ細胞です。その肥満細胞が腫瘍(がん)化したのが肥満細胞腫ですが、人間の場合は肥満細胞が腫瘍化することはほとんどありません。ただし、多くの現代人が悩まされ、社会問題ともなっている花粉症の症状はこの肥満細胞に由来しています。

私の研究室では、肥満細胞の細胞生物学的機能を解明することによって、肥満細胞腫の有効な治療法を開発することを目指しています。肥満細胞腫は人間では滅多に見られない病気のため、医学分野では肥満細胞の腫瘍化メカニズムはあまり解明されていません。まさに獣医学が取り組むべき重要なテーマといえるでしょう。私たちの研究室では、肥満細胞腫には遺伝子変異以外のメカニズムが存在していることを明らかにしつつあり、腫瘍化の原因となる細胞内の分子の解析も進めてきました。そこで、肥満細胞腫に有効な分子標的治療(目的の分子をピンポイントに狙い撃ちしてがんの増殖を抑える新しい治療法。人間のガンや白血病にも有効への応用を前提とした基礎研究に着手しています。ちなみに肥満細胞腫は人間の白血病とも共通する部分があるため、私たちの研

究には医学界からも注目が寄せられています。研究者としての私の原点は、臨床現場にあります。農工大の獣医学科を卒業後、私は動物病院での勤務医を経験しました。その際に、動物の病気にはまだわかっていないことが多いことを痛感させられました。そこで大学院に戻り、あらためて臨床獣医学を専攻。現在も、府中キャンパス内にある農学部附属動物医療センターで犬と猫の診療を担当し、動物たちの痛みと苦しみ、そして飼い主さんたちのペットへの思いを感じながら、研究活動を行っています。また、獣医師会や学会とコラボレーションを図りつつ、医学ほど確立されていない獣医師の治療・診断の指針づくりに協力するなど、大学人としての社会的使命も果たしていきたいと考えています。



クローズアップ農工生

高校生向け科学雑誌「someone」

編集長として活躍する本学大学院生・日野愛子さんに聞く



農学府 生物制御科学専攻1年
「someone」編集長

日野 愛子さん

若者の理系離れが叫ばれ、それに伴い科学雑誌の部数が低迷する現在、昨年10月1日に創刊された高校生向け科学雑誌「someone」が話題を集めています。高校生以下に無料で配布をしているこの雑誌の編集スタッフは、理系の大学生や大学院生十数名。「いつもあなたのそばにサイエンス」をコンセプトに、バイオ系をはじめさまざまな科学の話題をわかりやすく、面白く伝える記事が若い世代の人氣を集め、新聞等メディアでも取り上げられています。今年9月には、創刊1周年記念号として2007年秋冬号 (Vol.3) が発行されました。本学農学府の学生も編集スタッフとして参加しており、創刊以来、編集長を務めている日野愛子さんがその一人。そこで日野さんに、科学雑誌づくりへの思いを中心にお話をうかがいました。

——「someone」の編集長となった経緯を教えてください。

日野 「someone」の発行元は、実験教室などのバイオ教育事業を展開するベンチャー企業「株式会社リバネス」です。応用生物科学科3年生の時、私はこの会社にインターンシップ生として参加し、4年生になって、高校生向けの新しい科学雑誌創刊を構想されていたリバネス社員の方から、「編集長をやってみないか?」と声をかけていただきました。雑誌の編集経験はありませんでしたが、文章を書くことは好きでし、かねがね大学での専門研究と一般社会との接点について自分自身で模索していたので、良いチャンスと思い、喜んで引き受けました。

——作り手として「someone」の特色は どのような点にあると考えていますか。

日野 これまでの科学雑誌は、記事内容が難しく、価格も高かったもので、高校生には少々敷居が高い面があったと思います。「someone」は、掲載する記事の企画・文章から、デザイン・レイアウト、サイズまで、高校生を中心とした若い世代が気軽に手にとれる雑誌になるようにこだわって制作しています。理系の大学生と大学院生である編集スタッフの、科学研究に対する感動やワクワク感……そうした思いを、読み手である高校生の視点で表現していくことが目標ですね。企画や記事の執筆には高校の教科書なども参考にしているんですよ。

——読者である高校生からの反響も大きいそうですね。

日野 はい、日焼けの仕組みやチョコレートのおいしさの秘密など、高校生の日常に近い切り口から科学の魅力を取り上げた記事は、やはり読者にも好評でした。アンケートや手紙などで寄せられる高校生の声は、私たちの大きな励みにもなりますし、いただいたご意見を次の号の編集に反映させ、毎号毎号より多くの方々にとってもらえる雑誌づくりにチャレンジしてきました。おかげさまで、全国の中学・高校から多数のお取り寄せのお申し込みがあり、また、今年になって新聞で報道されて以来、一般の方々からも「ぜひ入手したい」というたくさんの問い合わせをいただいています。そうしたご好評の声に応じて、創刊1周年を迎える2007秋冬号では発行部数を増やし、書店販売もスタートします。もちろん、ページ

数もボリュームアップして、内容もさらに充実させました。ぜひご覧になってください。

——表紙や中面のデザインやイラストも、 とてもおしゃれで素敵です。

日野 実は表紙のアートワークとチーフデザイナーを担当している佐藤桃子さんも、元農工大生です。彼女のセンスと仕事ぶりも「someone」の大きな魅力の一つになっていると思います。

——編集長として今後の抱負を聞かせてください。

日野 これまではバイオ系の記事が多かったのですが、今後は物理学やテクノロジーの話題など、さらに広い分野を扱う科学雑誌にしていきたいですね。「someone」の編集や取材を通じて、私自身の科学に対する視野も広がりました。また、私をはじめ創刊時から関わっているスタッフの多くが来年は卒業しますので、これまで蓄積してきた雑誌づくりのノウハウを後輩に伝えることも意識しはじめています。やはり、こうした雑誌は、コツコツと長く続けていくことが大切だと思いますから。

——修士課程修了後は

どのような進路を希望されているのですか?

日野 具体的な職種についてはまだ考え中なのですが、科学研究の現場と一般社会の橋渡しができる仕事に就きたいと思っています。



(株)リバネス「someone」ウェブサイト
<http://www.someone.jp/>

HOT NEWS

国際センターを11月1日に設置

これまで主に海外からの留学生の指導を行っていた留學生センターを衣替えて、本学の国際戦略を担う組織として新たに国際センターを設置しました。

本学は2007年10月1日現在、28か国及び国連の67大学と交流協定を結んでおり、米国のニューヨーク州立大学バッファロー校やバデュー大学と活発な学生交流を行い、最近では英国ブライトン大学との広範な交流を始めています。

国際センターが特に力を入れているのが、日本人学生に対して、海外留学を促進することと、国内においても国際的感覚を持って行動できる人材として育成することです。

そのため、ホームページによる海外留学を希望する日本人学生向けの情報提供を充実させたことに加えて、海外留学についての相談窓口を両キャンパスに設けました。

ご子息、ご息女が在学中に海外留学を果たせるよう、できる限りの支援をさせていただこうと担当の教職員一同張り切っておりますので、国際センターの積極的活用をぜひお勧めくださるようお願いします。

国際センター・ホームページ

<http://www.tuat.ac.jp/~icenter/>
留学のための相談窓口

府中キャンパス：語学演習棟1階103室

(月)～(金) 9:00-17:00 電話内線5651

小金井キャンパス：13号館504室

(月)～(金) 9:00-17:00 電話内線7618

Eメールによる問い合わせ先

iryugaku@cc.tuat.ac.jp



メールマガジン登録受付中

大学から毎月1回、学内ニュースや様々なお知らせなどをお届けします。皆さまのご登録をお待ちしております。

登録方法 <http://www.tuat.ac.jp/social/mail/index.html>



パソコンのアドレスへ配信希望の方

下記URL(登録サイト)からお申し込みください。

URL → <https://mdh.fm/e?kB003BH5wm>

携帯電話のアドレスへ配信希望の方

1. 下記メールアドレスに空メール(本文・タイトルを記入しない)を送信してください。
2. 自動的に携帯用登録URLが返信されますので、そちらからお申し込みください。

空メール用アドレス → tat@am.md



※メールマガジンは、tatmail@cc.tuat.ac.jpから送信していますので、受信できる環境へ変更をお願いします。

大学からのお知らせ

学園祭の時期に合わせて、府中及び小金井キャンパスでは様々な企画が開催されます。普段は入れない大学の施設・研究室なども開放され、見所満載です。皆さまのご来校をお待ちしています。

第49回東京農工大学学園祭

模擬店やステージなど盛り沢山のイベントで、学生達の熱気に溢れています。

●日時 11月9日(金)～11日(日)

●会場 府中キャンパス

(テーマ「轟(とどろき)」)

野菜市、植木市、模擬店等

<http://www.tuat.ac.jp/%7Enobu-fes/>

小金井キャンパス

(テーマ「COLORS ～一人一人の彩り～」)

ヒーローアトラクション、お笑いライブ、

ダンスコンテスト、クイズ大会等

<http://noko-fes.main.jp/>



東京農工大学科学技術展2007

本学で行われている研究を楽しく紹介します。

●日時 11月9日(金)～11日(日)

●会場 府中キャンパス

小金井キャンパス

(両キャンパス間をバス運行予定)

<http://www.tuat.ac.jp/~kagiten/>



今回はイギリスのブライトン大学も出展し、同大学の紹介を行います。ブライトン大学とは、大学間協定を締結し、様々な交流を行っているところです。この機会に、イギリスの大学に興味のある方はお立ち寄りください。

家計急変の場合の奨学金について

日本学生支援機構奨学金では、毎年4月に募集する定期採用のほかに、失業、破産、会社の倒産、病気、死亡等または火災、風水害等家計急変のために奨学金を必要とする学生に対して随時募

集を受け付ける緊急・応急採用制度があります。奨学金を希望される方は、学生が所属する「学生サポートセンター」にご相談ください。

平成19年度後期授業料の口座振替について

平成19年度後期授業料の口座振替は平成19年11月27日(火)に実施します。前日までに、ご登録いただいた口座への入金をお願いいたします。後期分の授業料は、267,900円です(専門職大学院は286,200円)。口座振替の手続きが済んでいない方で、お手

元に振込依頼書が届いていないという方は、下記の電話番号までお問い合わせください。

お問い合わせ先：資産管理チーム 出納係

042-367-5523

各問い合わせ窓口

修学・学生生活の相談等は、クラス担任・学生生活委員等の先生が対応します。次の窓口にお問い合わせください。

お問い合わせ内容	問い合わせ窓口	電話番号等
○修学に関する質問・相談 履修、成績、卒業、休学、退学 等	府中地区及び小金井地区 学生サポートセンター教務係	農学部 042-367-5662 E-mail a-kyomu2@cc.tuat.ac.jp 工学部 042-388-7010 E-mail tkkyomu1@cc.tuat.ac.jp
○学生生活に関する質問・相談 就職、奨学金、授業料免除、 災害傷害保険、ハラスメント 等	府中地区及び小金井地区 学生サポートセンター学生生活係	農学部 042-367-5540 E-mail a-gaksei@cc.tuat.ac.jp 工学部 042-388-7011 E-mail tkkousei@cc.tuat.ac.jp
○健康相談・精神保健相談 等	保健管理センター	府中地区 042-367-5548 小金井地区 042-388-7171

住所変更をされたご父母の方へ

本誌は、平成19年10月現在、大学に登録されている「学生の保証人住所」に郵送しております。住所変更の手続きは、学生本人が所属学部・大学院等に出向き、届出を行わなければなりません。まだ住所変更を届けていない方は、お子様(保証している学生)に手続きを行うようご指導願います。